

かわじま 議会だより

No.
146



初めての水泳授業

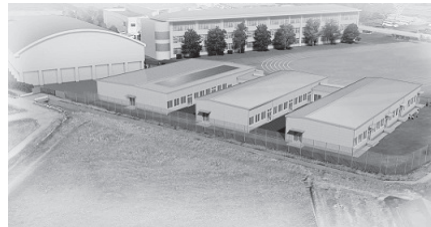
Contents

5月臨時会・6月定例会概要	2・3
委員会のうごき（6月定例会）	4
各議員の賛否（臨時会・定例会）	5
町の考えを問う（町政一般質問）	6～10
議会活動レポート	11
川越地区消防組合議会報告ほか	12

令和6年8月1日発行
埼玉県川島町議会

5 月
臨 時 会つばさ小学校低学年棟建設
工事請負契約など3議案を
承認・可決

令和6年第2回川島町議会臨時会が、5月2日に会期1日間の日程で開かれました。専決処分の承認を求める議案のほか、つばさ小学校低学年棟建設工事請負契約の議案など3件が審議され、すべて原案承認・可決されました。



つばさ小学校低学年棟完成予想図

6 月
定 例 会一般会計補正予算（第1号）
など7議案を同意・可決

令和6年第3回川島町議会定例会が、6月6日から13日までの会期8日間の日程で開かれました。
一般会計補正予算（第1号）や固定資産評価審査委員会委員の選任など、7議案が審議され、すべて原案同意・可決されました。また、報告1件が提出されました。

〈議案第35号〉工事請負契約の締結について（つばさ小学校低学年棟建設工事）

5 月
臨 時 会

トピックス 1

つばさ小学校低学年棟を建設します

令和7年4月に開校する「つばさ小学校」（つばさ南小学校とつばさ北小学校の統合校）の低学年棟（小学校1年生から4年生までが学ぶ校舎）を、川島中学校の敷地内に建設します。

主な質問は次のとおり

Q 工事車両の進入はどこからか。

A 中学校の東側、正門からになります。西側から進入することになった場合は、迷惑がかからないように対応します。

Q 開校前には、内覧会等を開いてももらいたい。

A 皆様が大いに関心を寄せている学校なので、極力お応えしていきたい。

Q 資材等の高騰等により、契約に変更が生じることはあるのか。

A 場合によっては、変更契約の議案も考えられる。進行管理をしっかりとしながら工事を進めていく。

Q 今回は、先行統合との説明を受けている。また、中学校周辺は水路も多い。子どもたちの安全対策に十分取り組んでほしい。

A まずは来年度に開校する小中一貫校の効果の検証をし

た上で、今後の児童・生徒数の推移を見極めながら検討していきたい。水路に限らず、様々な面で安全管理に努めていきたい。

◆つばさ小学校低学年棟建設工事の概要◆

構造	軽量鉄骨造平屋建て
面積	1,388.47㎡
部屋数	14部屋
請負金額	5億8,630万円
請負業者	(株)島村工業（川島町）

〈議案第37号〉川島町一般会計補正予算（第1号）

6月例会

トピックス 2

定額減税で減税しきれないと見込まれる方に

総合経済対策の一環として、納税者などに一人につき、4万円（令和6年分所得税から3万円、令和6年度個人住民税所得割から1万円）の定額減税が行われますが、この定額減税で減税しきれないと見込まれる方に調整給付金を支給します。

主な質問は次のとおり

Q 歳出に調整給付金が計上されているが、これは住民税として減税する1万円の分が全て含まれるのか。それとも引ききれない分を給付金とし計上しているのか。

A 予算計上した1億500万円は、減税しきれない方を対象とした金額で、3,500人ほどを見込んでいます。減税に係る事務費等を含めた経費は、すべて国から交付金として交付されることになっていきます。

Q 調整給付金対象者への書類送付や給付の時期は。

A 給付金に係る事務スケジュールは、7月中旬にシステム改修を行い、8月中旬に書類を送送する予定です。順次、給付処理を行い、早ければ8月下旬から指定された口座に振込みができると考えています。



経済を好循環に一定額減税—

〈議案第40号〉工事請負契約の締結について（川島中学校小中一貫教育校化工事）

6月例会

トピックス 3

川島中学校を小中一貫教育ができる校舎に改造します

川島中学校区（川島中学校、つばさ南小学校、つばさ北小学校）では、小学校を統合（つばさ小学校）し、その統合小学校を川島中学校の敷地内に設置することで、施設一体型の小中一貫教育校を開校します。小中一貫教育校化に必要な整備を行います。

主な質問は次のとおり

Q 「地域とともにある学校」とよく言われる。現場環境改善事業費（旧イメージアップ経費）の発注者側の考えは。また、騒音対策は。

A 完成イメージ図の掲示や進捗よく状況のホームページ掲載などで周知をしてまいります。また、学校を運営しながらの工事となるので、学校側の要望などをよく聞き、騒音対策などを実施していきます。

AQ 工事関係者との定例会議は。毎週火曜日に開催したい。進行の確認と安全面に配慮していきます。

Q 工事中はグラウンドが手狭になる。コミセンや町民体育館を使っては。また、安全ネット設置の考えは。

A 部活動等があるので優先的に確保していきます。安全ネットは一部ですが、設置していきたいと考えます。

◆川島中学校小中一貫教育校化工事の概要◆

- ①小中一貫校化対策
 - ・教室用途変更
 - ・会議室用途変更
 - ・職員室拡張、休憩室改造等
 - ②老朽化対策
 - ・トイレ改修、電灯LED化
 - ③部室小屋改造等
 - ・体育倉庫解体
 - ・部室小屋用途変更
- 請負金額 1億10万円
請負業者 (株)森田建設（東松山市）

総務経済建設常任委員会

◆ 議案第37号 一般会計補正予算（第1号）

住民税定額減税

問 国によるデフレ脱却経済政策として実施されるが、税額確定後の過払い分対応や当該費用は国から交付金があるのか。

答 過払いが生じても基本的には返還を求めないこととされています。また、減収となる住民税分は、地方特例交付金として交付されます。

◆ 議案第37号 一般会計補正予算（第1号）

ガバメントクラウド

問 デジタル庁が推進している当該事業は、多くの地方公共団体がその作業に追われているが、経費に関する国の支援はあるのか。

答 統一的にシステム改修できる点がメリットですが、高額な通信料が課題となっています。町は先行実施しているため、国から通信料の補助を受けています。

◆ 議案第37号 一般会計補正予算（第1号）

省エネ型施設園芸

問 当該産地育成事業の目的は何か。新規就農者はいらっしゃるか。また、見込みや計画はどのようか。

答 目的は、農作業での燃料費削減です。補助金活用者のうち、新規就農者は1人です。野菜や果樹の就農相談は多いのですが、水稻の相談がないのが課題です。



道場橋の上で国からの説明を聞く

越辺川の工事予定箇所を視察

委員長のコメント

この事業は、国の入間川流域緊急治水対策プロジェクトの一部です。台風や豪雨による河川の増水が原因で、堤防の越水や浸食により決壊する水害が全国的に多数発生しています。現在、河道（水の流れる部分）を拡げ、また、樹木の伐採が行われています。今回は、さらに上流部の危険箇所も確認できました。

文教厚生常任委員会

◆ 議案第36号 埼玉県後期高齢者医療広域連合規約の変更について

機械操作が困難な方への心配点は

問 健康保険証が廃止され、マイナ保険証になると、認知症等で機械操作ができない人も増えてくると思うが、心配な点は。

答 家族以外の第三者の介助が必要な方等、マイナ保険証での受診が困難な方には、資格確認書を交付できる制度があります。後期高齢者医療被保険者証は、令和7年7月31日まで使用できます。

◆ 議案第37号 一般会計補正予算（第1号）

保育園の施設修繕とは

問 さくら保育園にある二つの昇降機（人用及び給食用）の修繕内容は。

答 老朽化している昇降機の制御基板を交換します。現在、どちらの昇降機も安全のため使用を控えています。

◆ 議案第40号 工事請負契約の締結について（川島中学校小中一貫教育校化工事）

工事の概要と打合せは

問 同一敷地内で行う2つの工事に関係者の打合せはどうするのか。また、工事の概要は。

答 工事は、業者や学校、職員による会議を毎週行っています。今後は監理を委託している設計業者も入れ、5者で協議していきます。工事は、小中一貫教育校化工事、老朽化対策工事、部室改造等工事に大別されます。



グループホーム なないろの職員から説明を受ける

グループホーム なないろを視察

委員長のコメント

「社会福祉法人ウィンググループホーム なないろ」は、障がいのある方が、地域の中で、自分らしく生活を送ることを支援するために、令和6年4月1日に開所しました。定員は6人で、全て個室になっており、快適さを感じとれました。このような施設を増やしてほしいという要望もお聞きできました。なお、法人本部の管理棟も併設されています。

各 議 員 の 賛 否

※「○」は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席を表しています。「―」は議長もしくは退席のため表決していません。

上程された議案		結 果	議 員 氏 名													
			井 上 智 恵	山 崎 宣 佳	坂 本 順 子	粕 谷 克 己	加 藤 進	渋谷 幸 司	矢 内 秀 憲	柴 田 一 典	小 峯 松 治	爲 水 順 二	森 田 敏 男	菊 地 敏 昭	小 高 春 雄	道 祖 土 証
5月臨時会	専決処分の承認（川島町税条例の一部改正）	承 認	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	―
	専決処分の承認（川島町国民健康保険税条例の一部改正）	承 認	○	○	○	○	○	×	○	欠	○	○	○	○	○	―
	工事請負契約の締結（つばさ小学校低学年棟建設工事）	可 決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	―
6月定例会	埼玉県後期高齢者医療広域連合規約の変更	可 決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	―
	川島町一般会計補正予算（第1号）	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
	川島町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
	町道路線の廃止（町道3359号線及び3360号線）	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
	工事請負契約の締結（川島中学校小中一貫教育校化工事）	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
	固定資産評価審査委員会委員の選任	同 意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
	固定資産評価員の選任	同 意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―

（※議員名は、議席順となっています）

●固定資産評価審査委員会委員、固定資産評価員の選任
審議の結果、固定資産評価審査委員会委員に佐々木美代子氏を、固定資産評価員に小澤寿男氏を選任することに同意しました。

議会だよりを『読んで』みよう

『かわじま議会だより』は、毎年、2月、5月、8月、11月の年4回、発行しています。皆さんの生活に関わる議会活動を知る機会にしてください。

議会を『見学』してみよう

定例会は、3月、6月、9月、12月に開催します。会議の様子を傍聴したい方は、会議開催日に川島町役場2階議会事務局窓口にお越しください。

議会に『参加』してみよう

議会に対して陳情等を提出することができます。陳情はどなたでもすることができる制度で、特定の事項について実情を訴え、善処してもらうよう要請することです。

議会を『録画で見て』みよう

議場で行われる本会議の様態をインターネットで録画配信しています。また、本会議開催中、本庁舎1階のテレビで生中継しています。

町の考えを問う

6月11日、12日に町政一般質問を行い、9人の議員が登壇しました。各議員の発言事項は次のとおりです。

※一般質問の内容は各質問議員によって編集されています。
※質問議員下の二次元コードを読み取ると、録画した動画を見ることができます。

矢内 秀憲 議員

- 1 中学3年生、及び高校3年生インフルエンザ予防接種の費用助成について
- 2 町地域防災計画の一部内容について

坂本 順子 議員

- 1 お悔やみ窓口について
- 2 軟骨伝導イヤホンについて
- 3 带状疱疹予防接種、公費助成の進捗状況について
- 4 AYA世代在宅療養支援について

爲水 順一 議員

- 1 放置状態の不用品買取業者跡のゴミ山とその周辺について
- 2 川島町総合振興計画及び川島町都市計画マスタープランについて

小高 春雄 議員

- 1 大いなるまちづくりを目指して

井上 智恵 議員

- 1 役場職員の働き方改革について
- 2 公民館廃止による各教室の影響について

渋谷 幸司 議員

- 1 フードバンク・子ども食堂への支援拡充について
- 2 AEDの屋外設置について

山崎 宣佳 議員

- 1 川島町職員募集と待遇改善について
- 2 職場環境整備と職員人事について

粕谷 克己 議員

- 1 消滅可能性自治体からの脱却について
- 2 こども誰でも通園制度(仮称)と公立保育園について
- 3 地域防犯について

菊地 敏昭 議員

- 1 川島町の発展について
- 2 町の人口減少について
- 3 安心・安全な町づくりについて

問

中学3年生、及び高校3年生のインフルエンザ予防接種に助成金を。

答

助成制度の必要性を検討します。

矢内 秀憲 議員



問

予防接種の有効性に鑑み、家族の安心感を高めることは、受験への集中や町民の健康管理の一助になると考えます。特に、「中学3年生」や「高校3年生」は進学受験があり、それぞれ節目の年を迎えます。受験を控える本人や保護者の心配は尽きません。子育て支援の観点からも、該当年齢対象者への「予防接種費用の助成事業」が、元気で健康なまちづくりにつながると考えます。そこで、予防接種費用の助成を提案します。

答

受験を控えた中学3年生や高校3年生は、一生のうちで極めて大切な受験に際し、万全の心身で受験に臨んでほしいとの思いがあります。助成制度の必要性や内容等を検討します。

問

日本ワクチン学会の発表では、13歳以上は年一回の予防接種が原則とされています。提案した二つの学年の合計対象者は約300人で、ワクチン一回あたりの経費は約6,000円と想定されます。現在、助成対象となっている65歳以上の個人負担額(1,500円)と同額の個

人負担額で、接種率を50%程度と仮定すると、必要な予算はおおむね65万円と考えるが。

関係課とも協議のうえ検討します。

インフルエンザ予防接種で健康被害が生じた場合、川島町予防接種事故災害補償規程による補償の対象となるのか。

全国町村会総合賠償補償保険への加入に伴い、同規程を設けており、インフルエンザ予防接種も補償の対象となります。

答

全国町村会総合賠償補償保険への加入に伴い、同規程を設けており、インフルエンザ予防接種も補償の対象となります。



予防接種に向かう町内の高校生

問

窓口に設置された軟骨伝導イヤホンの効果は。

答

よく聞こえると好評をいただいています。

問

窓口において来庁された方とのやりとりで、耳の「聞こえ」に不安がある方の対応として、軟骨伝導イヤホンの効果は。

答

来庁者が多い町民生活課と、高齢の来庁者が多い健康福祉課の窓口を設置して、希望される方にご利用いただいています。よく聞こえることと好評です。大きな声で対話することもなく、個人情報を守ることにもつながります。

問

死亡に伴う役所の手続きをワンストップでご案内する「お悔やみ窓口」を設置しては。

答

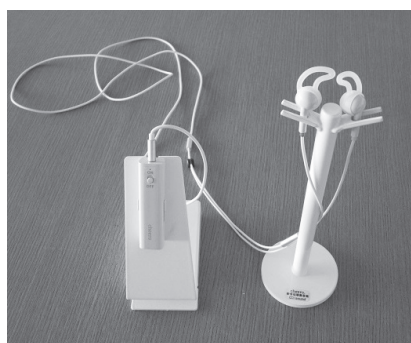
ご遺族の状況に応じて、一か所に担当職員を呼んで要件を伺い、負担のない対応をします。また、希望者は電話予約をして、職員が情報を受け、事前に必要書類を準備しておき対応します。

問

带状疱疹で重症化しないため、18歳～49歳の免疫低下状態の方に不活化ワクチン接種を公費助成する考えは。

答

前向きに検討します。18歳～39歳のAYA世代の方で



よく聞こえると好評の軟骨伝導イヤホン



坂本 順子 議員

がん治療をされている方に、在宅療養に必要な生活支援を助成する考えは。
 答 AYA世代の終末期がん患者が自宅で安心して療養生活を送ることができるよう、在宅療養に必要な生活支援費用の助成を行い、患者及びその家族の介護と、経済的負担の軽減を図ることを目的としていることから、「AYA世代終末期在宅療養支援事業」を前向きに検討します。

問

軽自動車の所有に対して支援策を。

答

財政的には難しいが、交通支援には注目し検討していく。

問

長年放置された産廃の山について町長の指示はどうか。

答

産廃対策の管轄は埼玉県になっており、町とも連携し、勧告文や改善命令、行為者への訪問、入出国の追跡調査等が実施されております。

問

県は行政代執行までに至らないが。

答

県には、解決に向けた対策を考え、産廃が撤去されるよう全力を尽くしてもらいたい。また、法律改正も視野に、国にもしっかりと取り組んでももらいたいと考えます。

問

町道にゴミがせり出し倒壊の恐れがある。改善を求めます。

答

現状のままだと通行人等に危険を及ぼすため、町道部分だけでも除去できないか県と連携し、対応を検討します。

問

当町に住んでいる限り、自動車を所有する必要性は高いと考える。軽自動車を所有するにあたり、何らかの支援ができないか。

答

軽自動車税の免除として考える。と財政的に難しいと思いますが、そうした支援は用意しなければと考え



町道に倒壊しそうな産業廃棄物



為水 順二 議員

ています。いろいろな角度から検討していきます。

問

平成の森公園は、バリアフリーに配慮された設計だが、トイレの段差は解消できないか。

答

段差解消に向け対応します。水害時に配信される警戒レベルの情報を「情報伝達訓練」として実施できないか。また、ハザードマップにマイタイムラインシートを追加できないか。

答

取り入れてまいります。

大いなるまちづくりを目指して。

答

将来に向け発進していきます。



小高 春雄 議員

問

民間の有識者グループである「人口戦略会議」が発表した将来的に消滅の可能性がある自治体に、県内では県西、県北、秩父地域の16自治体が挙げられています。

本町も該当していることが、私自身疑問です。なぜなら、川島町は、町民、町・町議会が一体となって各事業を実施し、将来に向けた町づくりを進めているからです。

このことから、将来の町づくりについて着実な実行に向けて行動をしている町長にお伺いします。

まず、町の更なる活性化に向けた「さまちか」の運営方針は。

「一般社団法人 さまちか」は、今後も、町の地域資源を有効活用し、町で活動する人々に光を照らす灯台として、また、観光協会の一面も担っているような活動を展開してまいります。

問 圏央道インター南側開発に向けての現況と今後の課題は。

答 先行する29haの開発については、令和9年度に進出企業が操業開始できるよう進めていきます。さら



民間活力を取り入れた利活用が期待される鳥羽井沼

に南側の40haについては、現在、開発手法について検討しており、今年度中に事業スケジュールを示せるよう進めていきます。

問 民間活力を取り入れた、鳥羽井沼の利活用については。

答 事業パートナーと協力し、アウトラスタイルの事業実施を目指します。

問 町合併論の見解は。

答 合併より、夢と希望に輝く町を目指し、力強く邁進していきます。

問

町の働き方改革への取組は。

答

働き方の改善と健康管理の促進に取り組んでいます。



井上 智恵 議員

問 町民により良いサービスを提供できるよう、また、優秀な人材を確保するために、政府が進めている働き方改革を、町はどのように取り組んでいるか。

答 仕事と家庭を両立させるため、育児及び介護休暇制度の拡充、計画的な年次有給休暇の取得やストレスチェックの実施等、働き方の改善と健康管理の促進に取り組んでいます。

問 公民館廃止に伴い、一般の方が開催している趣味の教室（ヨガや楽器教室等）は今後どうなっていくのか。

答 令和6年度末で、中山、伊草旧館、八ツ保の3公民館は使用を中止する方向で考えていますが、各地区に一か所は使用できる施設を残します。地域活動センター（仮称）に移行しても、教室活動は継続していくよう、各種調整をしていきます。

問 地域活動センター（仮称）に移行後、利用料金は発生するのか。

答 基本的に有料と考えますが、センター関連事業への協力団体には、



地域活動を担う重要な役割の公民館（中山公民館）

使用料の減免等を検討しています。

問 公民館で行っているハッピー体操は、広くて快適に体操できる場所の確保が急務と考えるが。

答 参加者の生きがいの機会を失わないよう、会場確保や代替施設の調整等に努めています。

問 参加者が多くなったかわべえ健康マイレージポイントキャンペーンは今年も実施するのか。

答 交換商品の見直しも含め、実施する方向で検討しています。

問

フードバンクや子ども食堂への支援は。

答

空き施設の利用や助成金は難しいが、社会福祉協議会を通じて支援していきます。



渋谷 幸司 議員

問 物価の高騰が続き、町民の皆さんの生活は厳しさを増しています。

いま、地域で、生活困窮者や子どもたちを支援する活動を、NPO法人のフードバンクや二つの子どもの食堂が行っています。しかし、資材の保管場所の確保や電気代の値上がり等で、いずれの団体も活動の継続が困難になっています。町の空き施設の利用や助成金などの活用はできないか。

答 フードバンクや子ども食堂の活動は、食品ロス削減や生活困窮者への食糧支援として大変意義のある活動です。しかし、現状では、町の空き施設の活用や活動資金の助成は難しいと考えます。今後も、社会福祉協議会を通じて活動を支援していきます。

問 町のホームページには、町内で34か所にAED（自動体外式除細動器）が設置してあるとなっていますが、その中で、「24時間だれでも使用できる」ところはどこか。また、防災グラウンドなど屋外の運動施設にも、AEDの設置が必要ではないか。

答 現在、町が設置しているAEDで、24時間いつでも使用できるところはありません。今後、リース契約更新時に屋外設置を検討していきます。現在、一定の条件を満たした運動団体には貸出しを行っています。また、町内の24時間営業のコンビニエンスストアに、AEDの設置を調整しています。



フードパントリー（食糧支援）の様子
（NPO法人フードバンクよしみ・かわじま提供）

問

人材確保のため職員の待遇改善の考えは。

答

できるだけいいことをしながら検討を始めた。



山崎 宣佳 議員

問 地域手当の有無による近隣自治体との賃金格差で若手職員の離職や人材確保の困難さに直面しているが、受止めと対策は。

答 地域手当など、給料や手当の基本的な項目は、国の制度により縛られています。手当等については、国に改善を求めています。

また、自分が計画等に参画すること、町を変えられる魅力をやりがいに感じてもらえるような、人材育成を行っていききたいと考えます。

問 働きやすい職場環境を作るための対策は。

答 新庁舎への移転で、執務室の改善や休憩室の設置のほか、育児休業・介護休暇関係の制度拡充や年次有給休暇の取得推進、ストレスチェックとメンタルヘルス相談、ノー残業デーの実施に取り組んでいます。今後は個々の事情に合わせた多様な働き方ができる環境の整備を進めていきます。

問 職員の悩みを聞く場として副町長が年一回、全職員を対象とする面談を行う考えはあるか。



職員採用合同説明会の様子

問 人間関係や風通しの良さは大切だと思います。全職員は時間がかかるので、管理職との面談の中で、対応していきます。

問 人事異動の希望はどの程度認められるのか。

答 職員一人一人の能力や特性、意欲等を反映させた配置を行う中で、異動希望制度により半数以上が希望どおりの異動をしております。

問 削減可能性自治体から脱却する施策は。

答 結婚から妊娠、子育て環境の整備に重点を置き脱却を図ります。



粕谷 克己 議員

問 安心できる町づくりは。

答 国・県と連携し治水対策を進めてまいります。



菊地 敏昭 議員

問 通勤通学の利便性を考えた新たな交通体系を確立し、若者の人口流出を抑制できないか。

答 民間の力をいただき、自動運転の試行も視野に交通政策に取り組みたいと思います。

問 女性の定住を促進し、出生率を高めるための施策は。

答 出生率を上げる具体的な施策はつかめていませんが、新たに生まれた方々が、川島町が好きだと言っていただけのような施策を展開してまいります。

問 こども誰でも通園制度（仮称）の実施に向けた課題は。

答 この制度で月10時間を上限とする短時間保育が増え、保育現場の負担増が危惧されます。また、保護者対応も増えることから予約管理や料金徴収業務が煩雑となることも想定されます。

問 町は公立保育園一園を廃止するというが、保護者は朝晩の送迎が遠くなることを心配している。小学校の統合と同様、東部地区に残せないか。また、何年後の廃止を目指して

いるのか。

答 公立保育園の統合により、通園場所が遠くなってしまうたら困るとの声も聞いておりますが、将来的に公立保育園を2つとも残すことは、財政的にも難しいと考えております。どちらの園を残しどのように統合していくのか、また、統合の時期についてもさまざまな要因を加味しながら検討しているところです。

問 犯罪抑止効果のある防犯カメラを自治会で整備できないか。

答 コミュニティ活動事業補助金（補助率4/5、上限10万円）等を活用できます。プライバシー等に配慮した上で整備をご検討ください。



人口流出抑制に新交通体系を（茨城県境町の自動運転行動実証実験）

問 入間川流域緊急治水対策プロジェクトの上流・下流の工事進捗状況は。

答 令和6年5月時点での公表は、都幾川の河道掘削・樹木伐採・堤防整備が40%台です。令和7年度の完成で進めています。国・県と連携し治水対策に努め安全・安心を確保してまいります。

問 川島IC南側開発の進捗は。

答 国・県との農業振興地域からの除外協議が今年6月に終了見込みで、都市計画法に基づき、手続きを進める予定です。

問 安藤川拡幅計画の進捗は。

答 安藤川は川島排水機場から白井沿地内まで河道整備が完了し内水排除に寄与しています。今年度、未整備区間約2.9kmの測量や基礎的調査が県で、実施予定で道筋がつきました。

問 安藤川の掘削発生土の量と利用計画は。

答 事業の進捗状況によりですが、町職員の概算では土の量はおおむね16万m³です。県の事業ですが、処分



安藤川に架かる国道254号の橋

川島町議会活動レポート

タブレット型端末操作体験会



▲体験会には議員 14 人全員が参加

5 月 30 日に川島町役場大会議室で、今年度導入するタブレット型端末の操作体験会を開催し、議員全員が体験しました。

議長県外視察



▲宮城県大和町での視察

6 月 25 日・26 日の 2 日間で、埼玉県町村議会議長会による県外視察が行われ、議長が出席しました。なり手不足などの解消のため、議員報酬の引き上げと議員定数の見直しを行った宮城県大和町^{たいわちよう}を視察しました。

文教厚生常任委員会所管事務調査



▲茨城県日立市での視察

7 月 11 日・12 日の 2 日間で、文教厚生常任委員会による所管事務調査を行いました。茨城県日立市では「子育て支援について」、同筑西市では「公民館の地域運営について」現地を訪れ、調査を行いました。

総務経済建設常任委員会所管事務調査



▲おぢやクラインガルテンふれあいの里を視察

7 月 4 日・5 日の 2 日間で、総務経済建設常任委員会による所管事務調査を行いました。新潟県魚沼市では「空き家対策について」、同小千谷市では「滞在型農園について」現地を訪れ、調査を行いました。

議会日誌

4月

- 1日 議会報編集委員会
- 8日 議会報編集委員会
- 26日 議会運営委員会
議会全員協議会

5月

- 2日 5月(第2回)臨時会
総務経済建設常任委員会協議会
文教厚生常任委員会協議会
- 26日 町水防訓練
- 30日 議会運営委員会
議会全員協議会
タブレット型端末操作体験会

6月

- 6日 議会報編集委員会
- 6~13日 6月(第3回)定例会
- 13日 議会全員協議会

川越地区消防組合議会

(為水順二、小峯松治、矢内秀憲)

定例会 3月25日、会期1日間

- 議案第1号 川越地区消防組合手数料条例の一部を改正する条例を定めることについて
- 議案第2号 令和5年度川越地区消防組合一般会計補正予算(第3号)歳入歳出それぞれから947万3千円を減額し、59億8,357万1千円にするものです。
- 議案第3号 令和6年度川越地区消防組合一般会計予算
消防指令センター整備事業費の増額などにより、前年度比36億4,901万7千円増の歳入歳出それぞれ95億7,369万1千円とするものです。

全議案とも原案どおり可決しました。

臨時会 5月1日 会期1日間

- 議案第4号 川越地区消防局・川越北消防署新築給排水その他設備工事請負契約について
請負額 3億7,950万円
請負業者 温井住設株式会社
工期 令和7年12月15日まで

原案どおり可決しました。

(矢内)

9月の定例会予定

議案審議

一般質問

9(予定) 4水~19木 9(予定) 17火~19木

9月定例会は9/4~19の予定です。

相 委 副 委
談 " " 員
役 員 長 長
道 井 山 坂 粕 渋 柴
祖 上 崎 本 谷 谷 田
土 智 宣 順 克 幸 一
証 恵 佳 子 己 司 典

議会報編集委員会

表紙解説

6月25日は、中山小学校1年生の待ちに待った初めての水泳授業でした。
ワクワクしながら、スクールバスに乗り、町が委託している「コナミスポーツクラブ川越」へ！
インストラクターの合図でプールイン！手足をバタバタしながらあふれる笑顔の子どもたち。
授業では、泳力に合わせて、3つのグループに分かれ、専任のインストラクターの指導の下、楽しく学んでいました。
全員が楽しく取り組めた初めての水泳授業で、子どもたちは、たくさん学びある時間を過ごすことができました。(坂本)

編集後記

1月1日に発生した能登半島地震から半年以上が過ぎましたが、倒壊家屋のがれきなど地震直後と変わらない光景が報道され、避難所には今も2千人を超える方が、厳しい暑さの中で避難所生活を続けています。
町では、今年度ハザードマップの避難情報等を改訂し、年度末に配布すると説明を受けています。
今年は梅雨入りが遅く、線状降水帯による被害も発生しています。川島町に住む私たちもいつ何時、大きな災害に見舞われるかもしれません。
災害に備え、避難場所までの経路や家庭の備蓄品等再確認していただければと思います。(粕谷)